

在京花巻人

発行 在京花巻人会
連絡事務所

東京都千代田区飯田橋
4-4-8 東京中央ビル603号
電話 03-6256-8082



新年ごあいさつ

花巻市長 上田 東一



あけましておめでとう
ございます。

ふるさとから謹んで新春のお慶びを申し上げますとともに、在京花巻人会の皆様には、日頃より格別のご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、世界的に感染拡大した新型コロナウイルス感染症が、社会に大きな衝撃を与え、人々の健康を脅かし経済的にも甚大な影響を及ぼし私たちの生活を一変させた年となりました。

本市におきましても、学校や公共施設における

対策やPCR検査セン

ターの設置などの感染症予防対策に取り組んで来ましたが、花巻まつりなどのイベント等は中止され、国内外からの観光客も減少するなど、観光業、宿泊業や飲食業を中心に地域経済にとつて大きな影響を受けました。

このような状況を受け花巻市では、国の交付金を活用し、温泉事業者を支援するための利用料助成や地元飲食店や小売店の売り上げアップを図るためのPayPayポイント20%還元のほか、中小企業者向けの家賃補助や水稲生産者への米価格下落への支援策を講じるなど、地域経済の再生に努めてまいりました。

一方で、昨年は、総合花巻病院が御田屋町に3月に開院したほか、マルカンビルには、全国で5

番目となるおもちゃ美術館が7月にオープンし、まちなかの活性化につながっていくものと期待しております。

また、西南地区には、待望の道の駅はなまき西南が8月にオープンし、連日多くのお客様で賑わいをみせており、県内第1号の道の駅石鳥谷についても、現在、施設の改修再編が進んでいるところであり、さらに、新花巻図書館や花巻駅東西自由通路の整備の検討、国道4号北上花巻道路拡幅整備やスマートインターチェンジ整備などの計画も進んでおり、より住みやすい活力ある花巻に向けて前進しております。

在京花巻人会の皆様には、今後とも、花巻市への一層の発展のためご支援くださいますようお願い申し上げます。

一方、昨年は、総合花巻病院が御田屋町に3月に開院したほか、マルカンビルには、全国で5



年頭所感

在京花巻人会

会長 瀬川 紘一



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

とは申し上げてみたものの、やはり昨年来の新型コロナウイルス禍で今年は新年を心から寿ぐといった心境にはなれないのではないでしようか。今は唯々、会員の皆様そして花巻ゆかりの皆様が、この事態を無事に乗り切られることを心よりお祈り申し上げます。

それにしてもあつという間に世界中に感染が拡がった新型コロナウイルスです。が、改めて遠い外国の人々と私達がつながっていることを実感させられました。そして世界中の人々が自分たちと同じ閉塞した日々を過ごしているという共通体験も、グローバルゼーションを

感させるものでした。

しかし一方で、グローバルゼーションがもたらした多くの矛盾や課題についても考えさせられました。そもそもウイルスはグローバル化による人類の移動や土地の開発による自然破壊がもたらしたもので言われています。し、地球環境の悪化が世界中で自然災害の原因となつていきます。さらに経済のグローバル化は、それぞれでその受益者と置き去りにされた人々との間に格差の拡大をもたらし、深刻な社会分断をもたらし

ています。

このような矛盾や課題は、国を超えて連携しなければ解決出来ないと思えます。が、米中対立と各国の内向きな姿勢で国際協調が行きつまっていきます。ただこの背景には、資本主義と民主主義による政治と経済のシステムへの信頼が失われつつあることも忘れて

はならないと思います。

ドイツの哲学者マルクス・ガブリエルは、「コロナ時代を生きる私達は今、『グローバルな道徳』を必要としている」と述べています。宮澤賢治の「世界がぜんたい幸福にならなければ個人の幸福はあり得ない」という言葉を想起させますが、ほぼ一世紀前に今の時代を見通していた賢治に改めて感嘆する思いです。

新しい年にあたり、私達も世界の状況をよく見極め、世界中の人々に思いを馳せ、行動を起こす時が来ていることを心に刻みたいと思います。

令和3年度 第35回

「在京花巻人のつどい」のお知らせ

日時：令和3年7月10日(土) 11時~14時

会場：東京ガーデンパレス

住所：東京都文京区湯島1-7-5

電話：03-3813-6211

アクセス：JR御茶ノ水駅聖橋口

会員の活動報告コーナー

第41回献血奉仕活動に参加してきました

理事 梅津 豊

令和2年11月8日(10時〜16時)池袋駅東口で永年岩手県人会として協力している日赤献血奉仕活動に参加してきました。コロナウイルスの影響を受け、春は中止、この秋1回の開催でソーシャルディスタンスを考慮し人数を削減、全体として15名、うち花巻人会4名、ボランティアとしての協力開催となりました。



池袋駅はJR駅として

新宿に次いで2位、営団地下鉄は1位、駅全体として1日約260万人の乗降客を誇る立地です。乗降客の献血協力に対する意識は高く、始まる行列が出るほどの大盛況でした。20代〜40代の若い方が多く、コロナウイルスの影響もあるのか積極的な協力参加者がおられる事を実感しました。

池袋駅はJR駅として、サクラか?と思うほど岩手県人の厚い思いに感動するスタートでした。仕事帰りに協力したいと終了時間を確認される方、今回お願いのA・B・OではなくA・B型が良いか?と尋ねる方、岩手県人会の催しと聞いてわざわざ娘さんを連れて来られた日話出身のおばあちゃん、自転車ですら来て献血される

若い人、本当に様々な方が献血に来られ最終的には午前15人、午後25人と不断より多い40人の尊い献血参加協力者で今回の活動は終了しました。血液は日持ちしません、60代以上の手術に多く使用されるそうです。来年は年2回の通常奉仕活動に戻り献血奉仕を継続したいと誓った1日でした。

「ネクタイを締めた百姓一揆」東京で公開
地元在住有志がスタッフや出演者となって製作された「ネクタイを締めた百姓一揆」が、東京のアップリンク渋谷で公開されました。この映画は新花巻駅設置を巡る14年間の地元住民による活動の物語です。昭和46年に発表された東北新幹線の計画に無かった駅を、様々な障害を乗り越えて設置に至ったという大群像劇です。又、この物語の映画化も困難な事業だったようです。「新花巻駅物語」甚之助と万之助(渡辺勤著)を読んだ高橋修氏が2010年末に映画化を思い立ち企画がスタート。企画書が紫波町在住

の映画監督河野じべ太氏に渡り、映画化に向けた活動が始まりました。その後東日本大震災があり、一時停滞しました。しかし2014年に映画製作実行委員会によって製作体制の準備がスタートしクランクインに漕ぎつけました。クランクアップは2016年5月、編集や資金集めなどがあり、2017年5月に花巻文化会館で初上映されました。プロデューサーの小原良猛氏は新駅誘致活動の中心人物小原甚之助氏のお孫さんで、2017年の「在京花巻人のつどい」に来賓として出席して頂きました。劇場公開までには、更なるご苦労があったと思いますが、3年半後の今年11/6、

副会長 高橋 良光
昨年11月11日(水)から16日(月)までの6日間、JR東日本盛岡支社主催の第2回「いわて銀河ドリームフェア」がJR大宮駅イベント広場で開催されました。県内から10数店舗が出店、沿岸地域(大槌、釜石、大船渡)からは昆布類、筋子、一夜干しの海産物、県南地域(一関、平泉)からは南部せんべい、和菓子等、県中央地域(遠野、宮守)からは漬物、ブルーベリーの加工品、花巻は矢沢の東十二丁目の高橋農園からりんご、道奥金婚亭の漬物などが販売されました。高橋農園販売の

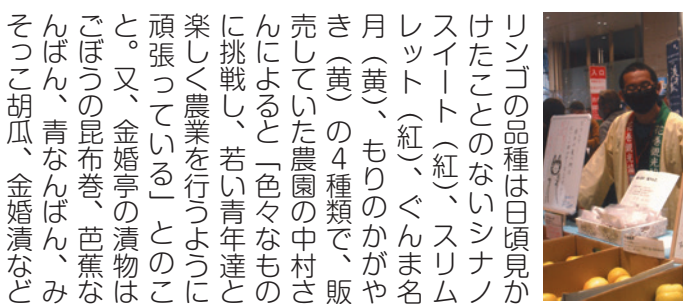
※金婚亭の漬物はネットの楽天市場で買う事が出来ます。

リンゴの品種は日頃見かけたことのないシナノスイート(紅)、スリムレット(紅)、ぐんま名月(黄)、もりのかがやき(黄)の4種類で、販売していた農園の中村さんによると「色々なものに挑戦し、若い青年達と楽しく農業を行うように頑張っている」とのこと。又、金婚亭の漬物はごぼうの昆布巻、芭蕉なんぼん、青なんぼん、みそっこ胡瓜、金婚漬などが並んでいました。私が訪れたのは12日(木)の午後3時半頃でしたが、この時間帯は通勤客が少なく、又、コロナ禍という時期でもあり一昨年と比べるとお客の数は少なかったです。私の思いとしては上野駅の中央改札口前の広場で行うともっと多くの人々が買物で岩手県に協力できるのでは?と思いつながら帰ってきました。

12東京での劇場公開が実現しました。
11/6の東京での初日は、河野じべ太監督と出演者、7/8日は小原良猛プロデューサーと出演者が舞台挨拶。6日〜8日は満席となり、劇場側は19日までの公開延期を決めました。これも一重に多くの会員の皆様に駆けつけて頂いた賜物と思います。(編集部)

「いわて産直市」開催
JR大宮駅での

「いわて産直市」開催
JR大宮駅での



「いわて産直市」開催
JR大宮駅での

《はなまき あれこれ》

新花巻図書館に関する市民意見交換会始まる

若葉町の文化会館の近くにある花巻図書館ですが、行かれたことがある方はご存知かと思いますが相当老朽化しています。そこで、現在新花巻図書館の建設が計画されており市民の注目を集めているようです。

市は、市民参加による新花巻図書館整備基本計画の素案づくりのため、昨年7月から10月にかけて「としょかんワークショップ『みんなで話そう未来の図書館』高校生・20代編、一般編」を開催。富士大学図書館学教授の早川光彦さんをアドバイザーに迎え、参加者は施設や蔵書資料、サービス、立地場所

などについて話し合いアイデアを出しました。さらに、昨年11月からは5か所で「市民との意見交換会」を開催し、ワークショップで話し合われた内容や建設候補地などについて報告するとともに、市民の皆さんと意見交換がなされ素案策定に活かされるとのことでした。

今後は、市民参加ガイドラインに基づき今年2月から4月にかけて、パブリックコメントや市民説明会、図書館協議会からの意見聴取による市民参加手続きが行われることなどが公表されています。

イーハトーブ花巻応援寄付金の令和元年度活用内容

市はふるさと納税を活用し、花巻を応援したいという全国の皆さんの思いを「イーハトーブ花巻応援寄付金」という形で受け付け、まちづくりを支えています。

令和元年度の寄付金は30,976件、6億924万3千円。活用状況は、中心市街地活性化に85,144千円(14%)、交流人口拡大に98,149千円(16%)、子育て環境整備に201,500千円(33%)、農業ICT化、担い手育成に77,560千円(13%)、生涯学習の推進に15,524千円(2%)、個性を生かした地域活動支援に131,366千円(22%)の6分類で合計37事業でした。

各事業の例として、中心市街地活性化では市内へ

の移住者支援や公園の整備、商店街活性化イベント開催費用の補助等、交流人口の拡大ではUIJターン者の就業支援や賢治童話村のライトアップ、ワインツーリズムいわて開催支援等、個性を生かした地域活動支援では、27の地域コミュニティでの活動の活性化支援等、がありました。

令和2年度も、活力に満ち、自然豊かなまちづくり、スポーツ振興と子供の教育で豊かな市民が育つまちづくり、地域コミュニティ活性化、市の重点政策などに寄付金を募っています。

(問い合わせ：本館定住推進課 Tel41-3516)

(広報はなまき8/1号より)

第30回宮澤賢治賞・イーハトーブ賞受賞者決定

この二つの賞は、宮澤賢治に関する優れた研究や、その精神を実践している個人又は団体に送られるものです。受賞候補者の選考については、市が毎年度「宮澤賢治学会イーハトーブセンター」に意見を求め、その選考結果を受けて決定・表彰しています。

今回の宮澤賢治賞は、文化人類学者・批評家の今福龍太さんが受賞、著書の「宮澤賢治 デクノボーの叡智」でイーハトーブを縦横無尽に巡りながら、そこに潜む未来的な倫理を浮かび上がらせた内容が高く評価されました。同奨励賞は、法華信者としての賢治の生涯を映像化し「愁いの王-宮澤賢治-」を

制作した映画監督の吉田重満さんと「宮澤賢治はなぜ教科書に掲載され続けるのか」を執筆した日本近代文学研究者の構大樹さんが受賞しました。

イーハトーブ賞には、秋田県を拠点に賢治童話や東北の歴史・文化を題材とした演劇活動を続け地域の文化振興に貢献してきた「劇団わらび座」が受賞しました。(広報はなまき9/1号より)



今福 龍太さん

JR花巻駅東西自由道路整備事業説明会始まる

花巻市では、JR花巻駅を利用する人の利便性向上と駅東西の一体的なまちづくりを進めることを目的に、同駅の橋上化と東西自由道路の整備を検討しています。

この事業では、駅施設を橋上化することに加え、西側と東側を結ぶ自由道路の整備(エスカレーターやエレベーター設置も含め)が計画されていますが、昨年7月～8月に事業説明会が開催されました。

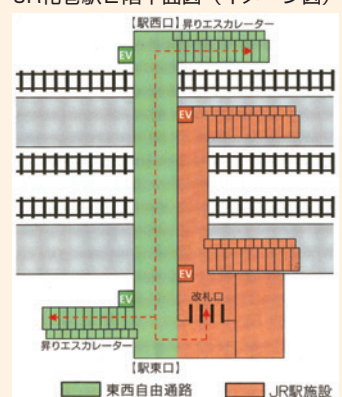
説明会参加者によると、花巻駅の乗車人口は1日平均3,287人(平成30年度)のうち1,000人ほど(ほとんどが花巻南校と花巻東校生徒か)が、東側の改札を出て公共地下道を迂回して西口に出ているとのこと。東西自由道路が出来ると、迂回せずに改札

から直接2階の自由道路に上がり西口を目指すようになるとのこと。

ただ、問題はいつ出来るかですが、今の計画では令和8年の秋とのこと。花巻駅の役割を考えると大切な事業と思われるかもしれませんが、完成は6年後となります。

(広報はなまき8/15号、在花巻会員 高橋進氏より)

JR花巻駅2階平面図(イメージ図)



ベルンドルフ市友好都市提携55周年

オーストリア共和国のベルンドルフ市と旧大迫町は、アルプスに咲くオーストリア国花であるエーデルワイスと早池峰固有のハヤチネウスユキソウがよく似ているという、花が取り持つ縁で1965年友好都市提携を結びました。この友好都市提携は、平成18年に新花巻市に引き継がれ、昨年55周年を迎えました。

ベルンドルフ市は、ウィーンの南南西約50キロにある人口9,000人の比較的小さな市ですが、12世紀ごろの記録にもその名があるほど歴史のある町です。産業も、19世紀半ばに金属洋食器工場を建設し、現在でも銀食器は国内外で多くの人々に使われています。松やにの生産も盛んで、クラシック音楽が日常的に演奏されるオーストリアで弦楽器に塗布する

ために使われています。

ベルンドルフ市との交流は、1966年以来青少年研修派遣やギムナジウム校の生徒受け入れ、登山やスキー交流、ワイン留学生派遣、郷土芸能の紹介などを行って来ました。

平成27年の50周年記念式典では、ベルンドルフから訪問団17人が訪れ、式典や市民交流会に参加しました。ただ、55周年の昨年は新型コロナで式典は延期、今年改めて式典と交流が行われる予定です。

(広報はなまき10/1号より)

ベルンドルフ市民劇場



「釜石線70周年」と「一関～盛岡間開業130周年」

釜石線が全線開通したのは70年前、確か当時は花釜線と言っていたように思いますが、かつて花巻北高があった（現在は花巻北中がある）崖の下の線路を、機関車が後ろ向きに花巻駅に向かって走っていた姿が思い出されます。釜石線全線開通は大きな出来事で、小学生も市をあげてのお祝いの旗行列に参加しました。

昨年10月11日、JR東日本盛岡支社は釜石線70周年記念号を運行、20組（1組2人まで）を招待し、JR遠野駅からJR花巻駅まで特別運行しました。使用列車は「リゾートあすなろ」で、平成22年東北新

幹線新青森開業に合わせて登場した津軽線・大湊線を運行するリゾート列車。乗客はカラフルな車体と広々とした車内を楽しみました。

又、同盛岡支社では、東北本線の一関～盛岡間の開業130周年を記念して特別列車を運行、花巻市民7組（1組2人まで）を招待し、JR北上駅からJR盛岡駅まで特別運行しました。列車はJR東日本の全車両グリーン車編成のハイグレード車「E655系なごみ（和）」で、乗客は豪華な客室で高級感を楽しみました。

(広報はなまき9/1号他より)

イギリス海岸の出現、昨年は出現せず

毎年、花巻市は宮澤賢治の命日9月21日にイギリス河岸を出現させる試みを実施しています、昨年の同日にも発電事業者などの全面的な協力のもと出現を試みましたが、残念ながら水位があと1歩下がりが切らず、出現とはなりません。ただ、下がった水位のおかげで白い川底がうっすらと透けて見えて、イギリス海岸の輪郭は見る事が出来ました。

イギリス海岸は、かつては夏になると青白い凝灰岩質の第三紀層が露出し、イギリスのドーバー海峡を

令和元年度の試みで出現したイギリス海岸の様子



思わせたことから賢治により名付けられたものです。

この試みは昨年で14回目、平成21年、24年、26年、28年、令和元年に出現に成功しています。一度賢治の命日に合わせて帰郷して見に行ってみませんか。

(広報はなまき9/1号、花巻市ホームページより)

高校野球秋季岩手・東北大会の結果と花巻農の活躍

今年の選抜高校野球甲子園出場校の選出目安となる秋季高校野球の岩手県大会が昨年8/29～9/27、東北地区大会が同10/14～20に開催されました。

まず花巻地区の予選では花巻東、花巻北、花巻農が勝ち抜き県大会に出場。1回戦で花巻農は久慈に5:4で勝利し、花巻北は盛岡第四に4:7で敗戦。2回戦で花巻東は盛岡中央に11:1、花巻農も盛岡工に5:4で勝利しました。準々決勝では、花巻東が黒工に14:0、花巻農が盛岡三に5:4で勝利し共に準決勝に進みましたが、準決勝では花巻東は盛岡大附に2:7で、花巻農は一関学院に2:9で敗れました。盛岡

大附と一関学院は東北地区大会に、三つ目の代表をかけて花巻東と花巻農が対戦しましたが5:0で花巻東が勝利しました。残念ながら花巻農の東北地区大会出場はなりません。

東北地区大会では、1回戦で県大会優勝の盛岡大附は羽黒に7:10、一関学院は昌平に6:9で敗れましたが、花巻東は鶴岡東に7:2で勝利し2回戦に。2回戦は角館に2:1、準々決勝では八戸西に2:1で勝利し準決勝に進みました。しかし準決勝で仙台育英に0:1で敗れ、甲子園出場（東北地区2校）確定には惜しくも届きませんでした。



花巻まつりの思い出



高橋 滋明

実家の花屋・花広さんの八月は何かと忙しい。

商いをしながらのお墓の掃除やお墓参り当日に集まる二十人以上の兄弟、甥姪などの夕餉の準備。そこにお祭りの準備も加わるのです。

その頃には風流山車の出し物を決定し、花飾りなどの作成を分担してそれぞれが家で作って持ち寄り山車に飾り付けていくのです。

花巻のお祭りを語るるとき、北松齋公を忘れてはならない。

北松齋公は安土・桃山時代に花巻城代の南部秀愛が戦死したことから南部家の懇望により昇格して城代になり、現在の花巻市の基礎となった花巻

にその御恩を因んで花巻まつりが始まったと言われています。

私達が子供の頃のお祭りは色々な行事の中で最大のイベントでした。もちろん心も浮かれ、学校はお祭りの行事日程に合わせ早く下校ができました。小さい子供は山車の隣

子の調子を「よいー、よいー、チャンチャンランツ、チャンチャンランツ・・」と、鹿踊りは「ダアスコダン、ダアスコダン」と足を踏み鳴らしてはしゃいでいたものです。

町内中にお祭りの花や提灯が飾られ、屋台が立ち並びとお祭り本番です。

山車はお祭りの花、元々は高さ十三メートルの豪壮な尾形山車で東北屈指の名声を馳せていたのですが、電線が張り巡らせられてからは現在の高さになったのだそうです。

今は何といっても風流な人形や飾り、京都祇園の流れを汲むと言われる囃子と稚児姿の子供たちの冠や衣装が優雅だ。

大太鼓、三味線、笛に稚児たちが叩く小太鼓のバランスは何とも言えま

せん、花巻ばやし「よいー、はいよいー・・」なのです。お祭り前日までのお稽古は妹のこを見ていましたので、大変だなあーと思ったもので

す。神輿を担ぐことは男の子の夢です、が五年生ぐらいにならないと担げないのです。

身長が低いのと相まって何しろ担ぎ手の子供が多いのです。低学年はもっぱら神輿の脚立や仰木持ちといったところでしょうか。そんな役でも子供は神輿に出てみたいのです。

豊沢町では大人の神輿と子供の神輿が出ていました。大人の神輿は樽神輿で重く、子供の神輿は宮神輿で軽いのですが一丁前に道路いっばいにもむのです。当時は国道の両端に下水が流れており、板の蓋が腐っているのをそれをかんでしまつことありましたね。でも怪我が無かったのは不思議です。

二〇一五年の花巻まつりに一四基の神輿が一同に会したため、ギネス世界記録に認定されたのは記憶に新しい。鹿踊りがまた素晴らし

い。

時にダイナミックに、時に繊細に舞って天空に響かせる太鼓は見る人の心底をも打ちのめすようだ。私達が子供の頃は今のよう到大勢の踊り手はいなかったのですが歌を歌いつつ太鼓を打ち鳴らす様相は変わらない。村人の不安を祈願し悪

霊を追い払う行事が舞踏化されたものと言われていますが、宮沢賢治の童話「鹿踊りのはじまり」は鹿踊りの精神が表現されていると思います。そのほかにお祭りの行事表を見ると、鳥谷崎神社神御神輿渡御、神楽権現舞、婦人会による花巻

ばやし踊りなどがありますが詳しい話は次の機会に、と思っています。盛大な花巻まつりが二〇二〇年は新型コロナのため中止だったのは残念というほかありません。



昭和29年 豊沢町子供みこし

在京花巻人会会員の皆様へ

在京大迫人会 内村 正明

この度唐突のお知らせでしたが、在京大迫人会を「休会」に致し、在京花巻人会に加入させて頂く事になりました。既に会報「在京花巻人」(第61号)で瀬川紘一会長より会員の皆様へ加入・承認をお願いの旨紹介を載いておりますが、改めて旧大迫人会加入の件、承認頂きたく宜しくお願い致します。

尚、在京大迫人会はこの3月末を以って「休会」に致しました。大正5年に創立以来永年に渡り歴史の“バトン”を繋いで参りましたが、近年(3年前の100周年を契機に)会員の皆様の高齢化や病等の事情で「総会・集い」への参加も減

少傾向で会の運営に支障を来し、誠に残念ながら「休会」に至った次第です。現会員始め、在京の先人・諸先輩の方々と並びに関係各方面の皆様方に沢山のご支援、ご協力を賜りました事に心より感謝と御礼を申し上げます。

今春4月から新会員として加入し活動に参加を期待致しておりましたが、7月の「花巻人の集い」が「三密」回避の為、中止の連絡を頂きました。コロナウイルスは依然終息の兆しが見られず、私達も日々感染防止に躍りになっておりますが、皆様とお会いするチャンスを逃し残念でなりません! 但し従来から個々のお付き合いがあり、瀬川会長始め執行役員の方々と親交を頂いておりますので“心配ご無用”と理解しております。

これからは色々な催事や交流に在京大迫人の皆さんと一緒に活動に参加する事を楽しみにしております!

しかし、この度退会を余儀なくされた諸先輩や友人・知人の方々と首都圏で暮らして居られる大迫出身の皆様方に、今回の未来志向で「在京花巻人会に加入」のNEWSを何らかの形でPRしたいと思案しております。

今後は、在京花巻人会の会員としてスタート致しましたが、ふる里では既に(13年前に)合併“オール花巻”として花巻市民になっております。在京の私達も、遅まきながら歩調を合わせる事が出来ました。これを機会にどうぞ宜しくお付き合いの程お願い致します。

大迫からの新入会員の皆様

(あいうえお順)

| | | |
|-------|-------|-------|
| 阿部美保子 | 佐々木福子 | 藤原 敏子 |
| 伊藤 弘子 | 佐藤 充功 | 藤原 秀旺 |
| 内村 正明 | 武井 美砂 | 藤原 亮太 |
| 太田サエ子 | 多田 善利 | 村田 喜美 |
| 小野 昌則 | 千葉 益子 | 宮崎富貴子 |
| 菊池 裕 | 野々垣常子 | 19名 |
| 小暮 敏 | 原田 絹子 | |

会費納入のお願いと 納入状況の報告

1. 令和2年度会費納入のお願い

在京花巻人会の運営にご協力を賜りありがとうございます。

花巻人会は会員の皆様からの会費で運営させて頂いております。会費は「花巻人のつどい」「会報の発行」「歩こう会」等に使用させて頂いております。令和2年度の会費3,000円は同封の振込取扱票(手数料不要)で最寄りの郵便局より下記の口座にお振込み頂きますようお願い申し上げます。

在京花巻人会会長 瀬川紘一

口座名義 在京花巻人会
口座記号番号 00240-6-111794

2. 令和2年度の会費納入のお礼と納入状況

2年度の会費納入金額は11月末現在234名702,000円でした。会員皆様のご理解とご協力に感謝とお礼を申し上げます。

会計担当 高橋良光 板垣雅子

「第27回 歩こう会」実施日決定のお知らせ

「下谷～三ノ輪～北千住、 樋口一葉ゆかりの下町散歩」

5月に予定していた第27回歩こう会、11月に延期しましたが新型コロナウイルスの収束が見えず再延期、改めて3月27日(土曜)に実施することに決定しました。

テーマは予定通り「下谷～三ノ輪～北千住、樋口一葉ゆかりの下町散歩」です。集合場所や集合時間、コースの詳細などについては、2月に入ってから改めてチラシを送付しお知らせします。どうぞカレンダーの3月27日(土曜)に印をつけてお待ちください。
歩こう会担当理事

お詫びと訂正

会報の前号、第61号(10月号)の6頁に、「令和2年度役員」を掲載しましたが誤りがありました。「常任幹事 宮澤信夫」が抜けておりましたので追加させて頂きます。誠に申し訳ありませんでした。宮澤さんにも心よりお詫び申し上げます。改めまして「令和2年度の役員」をよろしくお願い致します。